

## なかしべつ町の魅力を発信!



宮長 寛大 (みやなが かんだい)

兵庫県高砂市出身。大学卒業後、JICA海外協力隊（野球隊員）としてグアテマラ共和国へ派遣された。2021年10月、中標津町地域おこし協力隊に就任し、一般社団法人なかしべつ観光協会から中標津町の魅力を日本全国へ発信している。

### 【協力隊に応募したきっかけ】

JICA海外協力隊の派遣前訓練時に、地域おこし協力隊の制度を知ったことがきっかけで、その時は漠然とですが「海外でボランティア活動を行った後に、日本でも地域おこし協力隊として地域の力になるようなことがしたい!」と考えていました。派遣先のグアテマラ共和国で、中標津町出身の先輩隊員から中標津町の魅力や周辺地域へアクセスする容易さ、また、中標津町には温かい方がたくさんいて素敵な場所だと話を伺いました。今は知名度が低いですが、中標津町の皆さんと一緒に町の魅力を発信して、地域活性化を図りたいと思い、応募しました。

### 【地域おこし協力隊としての活動】

一般社団法人なかしべつ観光協会に勤務し、観光協会の事務支援及び受託・収益事業の連携支援、観光資源の調査・発掘、新たな旅行商品の企画販売、町の魅力をSNSで発信するなどの活動を行っています。町のイベント(夏祭りや冬まつりなど)で地域の方とコミュニケーションを取ったり、山開きやバイクの日イベントなど観光協会がメインとなってイベントを運営することもあります。

町の移住定住事業も行っていて、私自身移住者ということもあり、移住の相談をオンラインで受けたり、1～4週間程度お試し暮らし体験の受け入れを行い、体験者のサポートを行っています。お試し暮らし体験では、「そば打ち体験」や「牧場散策+バター作り体験」など地域の特産品に関する中標津町ならではの体験メニューを用意し、中標津町の魅力をその場で伝えられるように工夫しています。

### 【中標津町の魅力】

私が実感している中標津町の魅力は3つあります。

まず1つ目は、「生活がしやすく、自然が近い町」であることです。市街地には思っているよりもたくさんコンビニがあり、大きなショッピングモールやスーパーマーケットもあります。日本で一番東に位置するマクドナルドやニトリ、ユニクロなど大手商業施設もあります。町内事業者も引けをとらず飲食店や宿泊施設も充実しており、温泉施設はなんと6ヵ所もあります。高層ビルや高層マンションがなく、空（視界）が広く、道路や駐車場のスケールが大きいと感じます。市街地から少し車で走ると、酪農の町なかしべつ特有の景色である牧草地が広がり、野生動物との出会いが待っていて、北海道らしい雄大な自然を満喫することができます。また、風の音や木が揺れる音、川の水の流る音など、自然の音を堪能できます。

次に2つ目は、「周辺地域へ観光がしやすい」ことです。市街地から車で10分走っただけで根室中標津空港があります。中標津町の観光スポットは、空港から北に15分ほど車で走ると「開陽台展望館」があります。開陽台は標高270mの丘になっていて、展望館から見下ろす雄大な自然は360°楽しむことができ、中標津町のシンボルである「武佐岳」の雄姿を拝むことができます。開陽台から西へ20分ほど走ると「モアン山」、



開陽台展望館から望む初日の出

さらに西に20分ほど走ると「神の子池」があります。中標津町周辺には知床や阿寒湖、野付半島、釧路湿原、摩周湖など有名な観光地があり、周辺の観光地域へは車で約1時間から2時間弱でたどり着きます。道路は広く、一本道が続くので、運転に自信がない方でも余裕をもって走ることができます。自然がいっぱいな道東の世界にぜひいらしてください。

最後に3つ目は、「温かい人が多い」ことです。中標津町に赴任する前は、ひとりだということで「生活ができるのか」や「受け入れてくれるのか」など不安や心配なことは多少ありました。しかし、赴任してすぐにたくさんの方々に温かく接していただき、まちなかでも声をかけていただけることが多くありました。私に対してたくさんの方々の温かさをいただけて本当にありがたいのですが、それに加えて、私の家族や友人が中標津町に遊びに来た際には、さらに温かさが増します(笑)。中標津の方は「中標津町の魅力を伝えたい!」という気持ちが行動に表れるようで、このようなことを当たり前でできることを尊敬していますし、この伝統を次の世代に引き継ぐために私も実践していきたいと思っています。

### 【やりがい】

前章で書かせていただきました中標津町の魅力が相手の方に伝わった時にやりがいを感ずります。個人的に運用しているSNSでも、友人から「中標津町に行ってみたい」や「そこで海鮮が食べたい」など声をいただきます。実際に中標津町に来た時も、おいしいお店に行ったり、自然を満喫できる場所に行ったり、最高のプランで中標津町の魅力を伝えられるのでぜひ中標津町にいらしてください。

観光協会の業務では、お電話でお問い合わせをいただいたお客様に観光パンフレットを送付して、後日、そのお客様からお礼の電話をいただいたり、実際に観光に来られた際に、観光協会の事務所に直接お礼を伝えに来てくださった時にやりがいを感ずります。観光で来られた方が中標津町の魅力を感じて「もう一回来たい!」と思っただけのように、地域の方ともコミュニケーションを取っているのですが、地域の方から「最近がんばっているね」「この前のSNS見たよ!」と声をかけていただけるのもやりがいのひとつです。

### 【将来の展望】

まだまだ“中標津町”の知名度は低いので、魅力をより伝わりやすくなるように言語化したり、写真や映像で伝えられるように勉強していきたいと思っています。まずは北海道内から中標津町へ観光に来るお客様を増やし、10年後に「北海道の観光地と言えば中標津」と多くの方に言ってもらえるように活動を頑張っていきたいと思っています。ずっと住み続けることによって“中標津らしさ”を新鮮に感じることは少なくなっていくと思いますが、道外出身の移住者としていろんな視点を持ち、さまざまなことを見て聞いて吸収したことをアウトプットしていきたいと思っています。

また、終業後や休日など、観光協会でも活動している以外の時間で、少年団軟式野球チーム「中標津ビッグベアーズ」を設立し、監督として地域の子もたちと野球を楽しんでいます。子どもたちが将来、大谷翔平選手のようなビッグな選手になって中標津町の名前を世界中に轟かせるような活躍を<sup>とどろ</sup>してもらうために、日々指導法と育成法を学んで指導に取り組んでいます。皆さまぜひ子どもたちの応援をよろしく願います!

協力隊の活動以外でも野球少年たちの夢を<sup>かな</sup>叶えるために日々精進することや、地域の子もたちにエンターテインメントを届けて、「将来も中標津町に住み続けたい」、「いつか私も中標津町の力になりたい」と思ってもらえるように、協力隊の活動もプライベートもより充実させていきたいです。

そして、協力隊の活動期間が終了しても中標津町に定住し、町の魅力を発信し続けるとともに、町の発展や地域活性化のお手伝いのできればと思っています。



酪農の町なかしべつ町のチーズリゾット